

## ～全量 1 等米・良食味・収量確保の総仕上げ～

落水はまだ早い！最後まで登熟を促す水管理！

刈取りは、ほ場ごとに登熟状況を確認し、適期を見極める！

出穂は、平坦部「はえぬき」は 8 月 4 日頃、「つや姫」、「コシヒカリ」は 8 月 10 日頃と平年より 3 日程度早くなりました。

穂数は平年より多く、1 穂朶数はやや少なく、m<sup>2</sup>あたり朶数はやや多い状況です。出穂後は 8 月中旬の気温が低く、日照が少なかったため、穂揃いにバラつきがみられ、登熟がゆるやかに進んでいる状況です。

品質・食味・収量確保のための必須の対策は次の 3 つ！

1. 可能な限り長く水を保ち、最後まで登熟を促す水管理を行いましょう！
2. 刈取りは、ほ場ごとに登熟状況（青朶歩合、枝梗の黄化、朶水分等）を確認し、総合的に判断し！適期を見極めましよう！
3. 乾燥・調製は慎重に仕上げ、全量 1 等米に！

### 穂揃期の生育状況（普及課生育診断ほ）

平坦部 (置賜地域)		出穂期 月日	主幹葉数 枚	穂数 本/m <sup>2</sup>	1 穂朶数 粒	m <sup>2</sup> あたり朶数 百粒	葉色 SPAD
は え ぬ き	本年	8/4	12.8	610	65.8	401	38.9
	前年	8/7	13.0	512	72.5	369	32.7
	平年	8/6	12.8	537	71.9	385	35.4
	平年比	-2	0	114	92	104	3.5

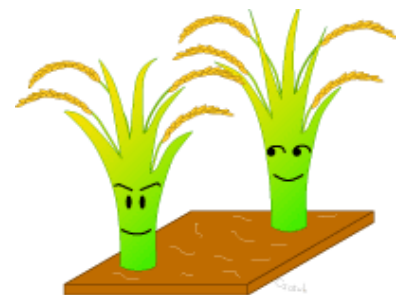
平坦部 (置賜地域)		出穂期 月日	主幹葉数 枚	穂数 本/m <sup>2</sup>	1 穂朶数 粒	m <sup>2</sup> あたり朶数 百粒	葉色 SPAD
つ や 姫	本年	8/9	12.9	522	66.7	348	33.7
	前年	8/12	12.9	485	71.1	345	32.7
	平年	8/11	12.8	458	72.6	331	32.0
	平年比	-2	0.1	113	92	105	1.7

落水はまだ早い！  
最後まで登熟を促す水管理を！

出穂後 30 日頃までは玄米肥大が旺盛な時期です。

『粒張りの良いお米』に仕上げるため、間断かん水や飽水管理をきめ細やかにを行い、根の活力維持に努めましよう。

出来る限り長く、登熟を促す水管理を行いましょう！



出穂後30日を目安に  
落水します。

## 適期刈取りで良質米仕上げ！ ほ場ごとに登熟チェック！

出穂は早まったものの、登熟がゆるやかに進んでいるため、刈取り適期の判断が難しい状況です。刈取りは出穂後の積算平均気温を目安にしますが、品種、ほ場ごとに青籾歩合、枝梗の黄化(2/3以上)、籾水分、倒伏の程等を確認して、適期を見極めましょう。

**刈り遅れると急激に品質低下！  
胴割粒や茶米の発生が多くなるので注意しましょう！**

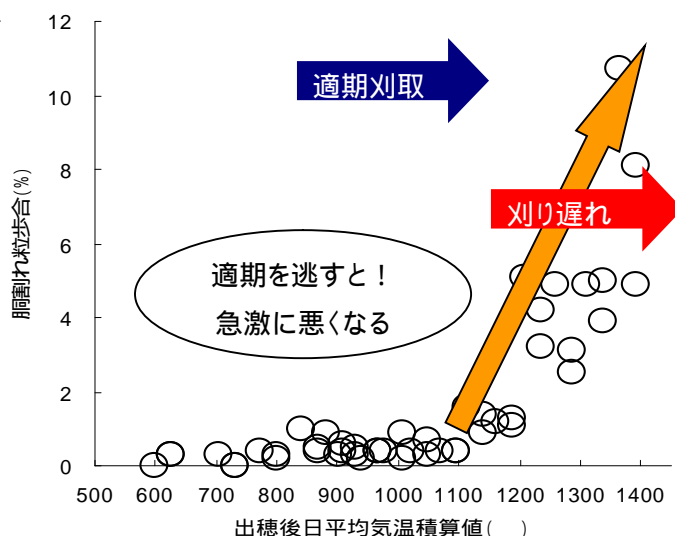


表 出穂後積算気温による刈取り適期の目安(平坦：高畠アメダス、中山間：高峰アメダス)

品種名	刈取適期	刈り始めの青籾歩合	出穂期(本年)	刈取り時期の目安
ヒメノモチ	950~1,050	15%	7月28日	9月6日~9月11日
ひとめぼれ	950~1,100	15%	8月2日	9月12日~9月20日
あきたこまち(中山間)	950~1,100	15%	8月3日	9月16日~9月24日
はえぬき(平坦)	950~1,200	20%	8月4日	9月15日~9月29日
はえぬき(中山間)			8月7日	9月21日~10月8日
つや姫	1,000~1,200	15%	8月10日	9月26日~10月9日
コシヒカリ	1,000~1,200	15%	8月10日	9月26日~10月9日

使用平均気温(予測データ): 8月27日までアメダス実測値、以降は異常天候早期警戒情報(2週間分)、1ヶ月予報(4週間分)、アメダス平年値使用の順で使用。

## 乾燥・調製は慎重に仕上げましょう！

収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。

乾燥は籾水分が20%以上の場合には毎時乾減率0.8%程度、20%以下の場合には毎時乾減率0.6%程度で行い、品質の低下を防ぎます。

良質米生産のために、1.90mm網目(LL)で選別します。

## あせるな・きもむな・農作業安全！

今年は例年以上に農作業時の

**重大事故が多く発生しています！**

コンバインの籾詰まりの除去は、必ずエンジンを停止してから！  
作業は計画的に、ゆとりをもって行いましょう！

